

鎌倉の里山が育てた子どもたちの記録映画



9/26
(土)

開場 13:00
開映 13:30

さあ
のほらへ
いこうぞ

青空自主保育の三年間

*場所

校舎の宿 さんさん館
(南三陸町入谷山の神平10-1)

*入場料 (当日受付OK)

大人 1,500円
小学生以下 無料

子どもたちが教えてくれたこと

監督 桐野直子

映画の主旨は、神奈川県鎌倉市で活動している、青空自主保育なかよし会の仲間たち（谷戸や）と呼ばれる里山を拠点に、野山や海で遊ぶ自主保育グループです。

保育の基本は、手出し口出しせず、見守りに徹しています。

「おはらへいこう」は、2006年4月に入会した1歳児たちが、毎年新しい仲間を迎えながら、2009年3月に卒業するまでの3年間を描いた子どもたちの成長記録です。

「うちうち歩き」の歳児たちと初めて谷戸へ出かけた日。私は、母親の胸にすがりつき、泣きながら山道を登っていく幼子たちの姿に、すいすいと感銘しました。

「早く泣き止んで……」とはかりに抱き上げていた、自分自身の子育て時代を振り返っていたからです。そんな出会いから3年。彼らと共に山道を歩き、木々のそよまや鳥の声に耳を澄ませ、

四季の移ろいを肌で感じながら過ぎます中で、私は、子どもたちの

「ありのままに生きる力」を感じるようになりました。そして、真つ赤になって泣いていた幼子たちが、草に覆われたけもの道を悠然と歩む背中、仲間を思いやる優しい面差しに、

嫌なことは嫌だと主張する強い心に、揺り動かされました。

子どもは、自らの力で育ちゆく「力」を持っているのだ
と気づくことを、彼らに教わったのです。

この映画は、そんな私自身の発見の記録でもあります。

青空の下、大人にそっと見守られながら、全身全霊で遊び、絆を結び合う子どもたちの「生きる力」を、一人でも多くの方々に感じ取っていただけたらと願ってやみません。

さあ

青空自主保育なかよし会

のはらへいこう

青空自主保育の三年間

貴重な鎌倉の自然を満喫しながら、四季を通じて薄着（はだし）で里山（山崎の谷戸）や海で遊ぶ保育グループ。1985年に創設され、今年で26年目。特定の園舎は持たない。保育者と数人の母やときには父が保育当番に入り、子どもたちに付き添う。保育当番に入る際の心得は「口はチャック、手は後ろ」。子どもたちは、親が耕した畑の野菜を収穫したり、泥んこになって生きものや自然とふれあいながら、思い切り遊んでいる。



大人にこそ、観てほしい映画だと思います。大人の既成概念から解放された子どもたちは、こんなにも素敵だったんだと感じました。

20代の男性・大学生

子どもたちが自分で社会を作り、関係を作っていく、自分の気持ちも相手に伝え、状況を変えていく……驚きでした。子どもを信じ見守っていく

勇気を持ちたいと思いました。

親として、先回りして、失敗しないように、傷つけないようにしている自分を感じました。

40代女性・主婦

この三年間は、

大人の10年、15年分くらいの価値がある

30代男性・会社員

子どもたちがとてもたくましく育っている。

3歳児とは思えないほど、

身体も心も育っている。

30代女性・保育園長

自然の中で、

危なっかしく遊ぶ

子どもたちの姿がよかった。

60代男性

地球環境が人を育てると実感できる映像でした。

次世代に自然を残す大切さが、

100のストーリーガンより

スツと伝わってきます。

70代女性

お問い合わせ 記録社

〒183-0001 東京都府中市浅間町3-16-7
TEL: 042-368-4230 FAX: 042-368-4260
Email: info@noharaheikou.com

自主上映会用に映画を貸出しています

のはらへいこう
www.noharaheikou.com



《お申し込み・お問合せ》

NPO法人くりこま高原・地球の暮らしと自然教育研究所

TEL&FAX: 0228-46-2626 E-mail: kouei@kurikomans.com

※本事業は平成27年度宮城県震災復興担い手NPO等助成事業の助成を受けて実施しております。